

● いろはがるた 三

次の文はいろはがるたです。意味を後ろから選んで記号で書きましよう。

- ① れうやく（良薬）は口に苦し（ ）
- ② 総領の甚六（ ）
- ③ 袖の振り合わせも他生の縁（ ）
- ④ 月とすっぽん（ ）
- ⑤ 月夜に釜を抜かれる（ ）
- ⑥ 爪に火をともし（ ）
- ⑦ 念には念を入れよ（ ）
- ⑧ 猫に小判（ ）
- ⑨ 寝耳に水（ ）
- ⑩ 泣きつ面に蜂（ ）

ろうそく

ア 蠟燭のかわりに爪に火をともしほど、過度に儉約する。

イ 不運の人にさらに苦痛や不幸が重なること。

ちゅうげん

ウ 未のためになる忠言は聞きづらいことにいう。

エ 貴重なものを与えても何の反応もないことのたとえ。転じて、価値のあるものでも持つ人によって何の役にも立たないことにいう。

オ 二つのもの間に非常に差があることのたとえ。

カ 不意の事が起こって驚くことのたとえ。

キ 注意の上にも注意せよ。

ク ひどく油断することのたとえ。

ケ 長男・長女は大事に育てられたので、その弟妹よりもお人よしでおろかだということ。

コ ちよつとした出来事もすべて宿世の因縁によるという意。